



平和について学びました

5月19日参加者40名(職員4名)は、事前に抗原検査の陰性を確認し、8時半みどり病院を出発しました。目的地は岐阜県で唯一「九条の碑」が建つ郡上市白鳥の正法寺と、たかす開拓記念館の2か所。正法寺の西澤栄達住職から、「九条の碑」建立の経過などをお聞きしました。住職は、1987年8月に比叡山で開かれた「世界宗教サミット」に参加したことで、平和への思いが募り、その年の8月15日から「千点鐘の集い」を始められました。これは朝5時から1日かけて鐘をならす行事で毎年続けられています。さらに住職は筑紫哲也氏の「九条の碑」の話に触発され一念発起、多くの寄付により「九条の碑」が建てられました。また碑の近くには広島島の被爆アオギリと長崎の被爆クスノキの2世が育っていました。住職の平和の思いを強く感じることが出来るお話でした。

次にむかっしたのは「たかす開拓記念館」。高鷲村の人々による満蒙開拓の歴史と、終戦後、その満州から生還した人々の、入植地ひるがの開拓の歴史が展示されています。体験者の肉声を聞いたり、手紙などを読む事も出来ます。悲惨な歴史、忘れてはいけない戦争の現実を学ぶ事が出来ました。

八幡市のレストランで昼食休憩の後、たっぷり2時間、市内散策などを楽しみました。帰着は16時で、計画通りで無事終了することが出来ました。



9条を守る

九条の会岐阜県交流会に参加して

大塚 研二

3月31日、ハートフルスクエアで、岐阜県各地の九条の会が集まり、7年ぶりの「九条の会岐阜県交流会」を開き、約100人が参加しました。会は、「岐阜・九条の会」連絡会代表の吉田千秋さんの「平和のための貢献を。学び、交流し、元気になる場にしよう。」と、呼びかける挨拶で始まり、三宅裕一郎日本福祉大学教授による記念講演と各地の会の報告・意見発表が行われました。

軍事によらない平和の実現に向けたアプローチ

「軍事による平和」に對抗するために私たちが知っておくべきこと」と題する講演で、三宅教授は、「軍事力による平和」の実像と限界を知り、「軍事力によらない平和」の

子どもの未来に憲法9条



実現に向けた四つのアプローチを示しました。①戦争を回避する政治を選択し、「自衛」を口実に軍事を動かす「政治」にブレーキをかけ、「不断の外交努力」こそが持続可能な安全保障に繋がるといふ視点の共有。②ひとたび戦争が始まれば、民間のリソース(財産、資産、資金)が動員され、医療、放送、道路、電気、ガスなど国民の日常生活に係る分野が「軍事優先」になり、「誰もが当事者になる」という認識を高めること。③地方

粘り強い活動の報告

記念講演に続き、各地の会から報告と意見発表がありました。「憲法 日本の誇り」という憲法賛歌の作者(作曲も)を招き、声を出し合った会、年3回の「平和のつどい」を粘り強く取り組む会、定期的にスタンディングを行う会、会報やニュースの発行を継続する会など、様々な活動を聞くことができました。元氣の出る交流会になりました。藍川地域九条の会からは、民医連の施設など地域の諸団体と共に、「県内2番目の九条の碑を建立する計画」を報告しました。

日野射撃場を公園に!

2023年6月に自衛隊員による銃撃殺傷事件が起きた自衛隊日野基本射撃場は、明治時代から陸軍の射撃訓練場として使われ、第二次大戦後、一時的に米軍が使用し引き上げたあと、1951年、岐阜市は都市計画公園として決定しました。しかしその後、国が土地を防衛庁に管理移転し、自衛隊の射撃場使用が始まったのです。

「住宅地域に武器を持ち込む訓練は住民の命を巻き添えにする危険をはらむ。次世代にこの危険を残してはならない。」1961年岐阜市公会堂に1000名の市民が参加する集会が開かれるほど、射撃訓練場反対の運動が広がりました。歴代市長は一貫して射撃場の移転・公園化を求め国に申し入れてきました。

PFAS外来を開始しました!

みどり病院院長 松井 一樹

2023年7月28日各務原市が見て「市民の半数にあたる約72,000人の水道水を供給している水源(三井水源)の地下水から、測定を開始した2020年11月以降、国の暫定目標値を超えるPFASが検出され続けていた」ことを公表しました。

この問題を受けて、当法人華陽診療所およびみどり病院は、ただちに、各務原市の方々と懇談、学習会、希望者検査の実施、PFAS外来の設置をすすめました。

そして、2024年1月10日より、妊婦さん2ng/ml以上、妊婦さん以外20ng/ml以上の方の、PFAS相談外来(約30分)を完全予約制で開始しました。

現在までに12名の方が相談にいらっしやっています。ご本人の体調のこともあり、一部の方がまだすべての検査を終了していませんが、幸いにして今のところ大事に至るものはありません。

外来での診察のポイント

- ① 関連する可能性のある6つの疾病①妊婦の高血圧および高血圧腎症 ②糖尿病(当院では注意喚起)
- ③ 腎臓病(腹部エコー)
- ④ 甲状腺疾患(血液とエコー)
- ⑤ 潰瘍性大腸炎(炎症反応と便潜血)
- ⑥ 脂質異常症(血液検査と頸動脈エコー)

への対応と、問診での低出生体重児の有無、ワクチン接種にもかかわらずの免疫低下等についてお聞きしています。

具体的な『PFAS 外来』実施手順は、

- 1: 華陽診療所かみどり病院に予約の電話を入れていただきます。(2以降は、みどり病院での例です)
 - 2: 1回目の受診: 1) 診察前に腹部エコー検査
2) 結果返しと診察 3) 血液・尿検査
4) 2回目の受診の予約(便潜血検査キットをお渡し)
 - 3: 2回目の受診: 1) 甲状腺・頸動脈エコー検査
2) 1回目の検査を含めた結果をお返しします
 - 4: 異常がなければ、市町村健診、職場健診の推奨及び、「次回は、健診結果ある場合は持参しての1年後のフォロー受診を」とお話しします。
 - 5: なにか異常が見つかった場合は、かかりつけ医への紹介あるいは高次医療機関への紹介等を相談のうえ行います。
- PFASに関しましては、検査、診察など新たな取り組みがあれば、又お知らせいたします。

銃撃殺傷事件が起き、住民の命と生活が脅かされる危険が高まる今、「すみやかに日野射撃場を撤去し、安心して使える公園を求め」声が広がり、地域住民を中心に、「日野射撃場を撤去し、公園にするみんなの会」を結成、4月7日、長森コミセンで発足を開きました。

「みんなの会」は、毎週月曜日射撃場前で、運動を広げようとスタンディングを続けています。